


①高松市(C5812)

SL静態保存活動調査表(1/3)

SL名称	保存場所	保存開始年月	保存団体	保存活動内容		活動団体		SL活躍の主線区	記事
				作業	回数	代表者	活動数		
C58形式 C5812 S13.9.12 川崎車両 製造	高松市 番町二丁目 公園	s45.4 (1970/4)	高松市	s50年より高松市とボランティア 清掃を申し合わせ現在に至る。 SL清掃と周辺部の清掃 ペンキ塗装	年1回 (毎年10月 上旬)	高松運転所 OB会会長 (宮内 博)	会員 20~30名 会員以外 0名	出水機関区 津山機関区 s18.1~四国各線区 s44.9退役 全走行キロ (2,215,923キロ) 四国管内の走行キロ (1,944,483キロ)	SLの塗装と周辺清掃 ペンキ等の材料を毎年 4月に市に申請書を提出し請求。市が申請書 に基づき現品を調達。 3~4年前から作業の 安全を図るため市が SL周りに足場を設置し てくれるようになった。 ・現地写真添付
保存の由来				由緒					
<p>・人類最初の本格的な動力として蒸気機関車が開発され、以来各種産業並びに交通機関の動力源の花形として石炭産業と共に活躍してきたが、最後まで活躍してきた蒸気機関車も完全に姿を消そうとしている。</p> <p>こうした時、最も親しまれてきた蒸気機関車を後世に永く保存することは、単に交通機関の歴史としてでなく人類初の本格的な動力源として最後まで活躍した代表的な人類の遺産として非常に有意義であると考え、四国の玄関・高松市に四国の花形機関車C58形式を保存した。</p> <p>・保存状態:良好。 ・プラットホーム屋根付き。サビの侵食少ない。</p>				<p>・地方幹線の花形機関車。重量100t、最高時速85km/hこの機はC58形式のデビュー頃のもので、その性能を買われて九州、中国、四国の山間部の輸送に活躍した。</p> <p>・廃車後は四国の表玄関の高松市で保存されることになった。</p> <p>・高松駅より徒歩20分</p> <p>・地図</p> 					

①高松市(C5812)

SL静態保存活動調査表(2/3)

現姿その他



24.10.8
清掃活動
高松運転所
OB会

安全足場組
(高松市施工)



24.11.20

①高松市(C5812)

SL静態保存活動調査表(3/3)

現姿その他



上・右段: 現姿 h24.11.20

下段: s57.2

